レッスン：SPA 39

テーマ：五芒星＆サイコノエティカル体

SPA39KE84/4N98

私の姉妹・兄弟達

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

私たちは最近のレッスンで、無知のなかにいる現在のパーソナリティーに関して五芒星の重要性について説明してきました。前に述べたように、無知にある間は現在のパーソナリティーは実際には四面ピラミッドの下にある自分の部屋の床に立っているのではありません。そして五芒星の役割とは天井に立って、実際には地球の中心に向かっているのを立っていると見なしている現在のパーソナリティーが床に立つように助けることです。

まず最初に五芒星は真理の探究者によって適切な仕方で創造される必要があります。そしてその時から現在のパーソナリティーは常に真っ白な五芒星のなかにいる自分自身を見る必要があります。五芒星は純白の光を放っており、その輝きは純粋であり、シミ一つありません。そして真っ白な現在のパーソナリティーよりも遙かに輝いています。

四面ピラミッドの下の部屋にいる間、現在のパーソナリティーにとって五芒星は非常に重要です。五芒星はもし適切に作られない場合には反対物のシンボルとなります。ですから非常に注意する必要があります。パーソナリティーが適切なポジションに来るよう助けるために、先のポイントが上に来る必要があります。五芒星はそれが適切に行われる時には、現在のパーソナリティーとしての無知の人間ではなくて、人間および人間のイデアを意味します。

最初に、探究者は五芒星を創造し、五芒星のなかにいる自分自身を見出し、それによって初めて探究者は自分の気づきを上昇させるべくスタートするのです。

今部屋のなかで真理の探究者は他の多くのシンボルを使用するでしょう。しかし、次に使用するシンボルは四面ピラミッドのシンボル、地上に立っている大きなピラミッドではなく小さな四面ピラミッドです。

今、小さな四面ピラミッドがあります。なぜ私たちはそれを創造するのでしょうか？どんな目的で？以前に説明しましたが、ある程度までその目的は現在のパーソナリティーがまず最初に自分自身の気づきのレベルを認識できるステートに到達するよう、助けることです。それは現在のパーソナリティーは自分自身の現れのレベルに全く気づいていないという事でしょうか？答えはイエスです。なぜなら、人間は無知のなかにある間は自分自身が現わしているレベルに全く気づかないからです。

そのためには勿論私たちにとって、現在のパーソナリティーの一つの部分の中心に位置している生のスパークの助けが大いに必要です。今、一つの部分と言いましたが、一体どのぐらいの数の部分があるのでしょうか？いつも述べているように、現在のパーソナリティーには二元性があります；実際、そこには二つの小さなセルフ（自己）があります。一つのセルフは無知にある現在のパーソナリティーを抱えている部分であり、もう一つの部分とは現在のパーソナリティーを悟りへと引っ張ろうとする部分です。後者の方の部分に生のスパークが位置しており、現在のパーソナリティーはそれを罪の意識として表現します。

ですから、この小さなセルフ、つまりエゴの助けがあり、同時に現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェル達の助けがあります。一人のミカエル、一人のラファエル、一人のウリエル、そして一人のガブリエル、そして勿論守護大天使もいます。サミュエルについては全く言及しません。実際それはルシファーのエレメンタルです。私たちは彼の助けは全く必要としていません。反対にルシファーが管轄しているエレメント、つまり地のエレメントにはフォーカスしないようにする必要があるのです。

Page2

ですから、それらのアークエンジェル達、および私たちの内側にある生のスパークの助けによって、自分がどのレベルの現れを表現しているかを認識した後は、私たちはより良いセルフ、さらにもっと良いセルフを現わすべく進んでいくのです。なぜなら、もし自分が表現している現れのレベルを認識できなければ、私たちは思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーについてワークすることができないからです。私たちは現在のパーソナリティーの不定形の諸体を再形成するためにワークをすることができないことになります。

そして前に述べたように、この小さな四面ピラミッドのなかで私たちが最初に同調、あるいは接触するアークエンジェルはミカエルであり；次はガブリエル；その次がラファエル、そして最後がウリエルです。現在のパーソナリティーの用意ができたときには、守護大天使は現在のパーソナリティーが守護大天使に気づくようにさせてくれるでしょう。そして現在のパーソナリティーが自分の現れのレベルを認識できるようになった時、初めてその用意ができることになります。その時初めて用意ができるのです。

さて、接触すると言うとき、それは目の前にミカエル、あるいはガブリエル、あるいはその他のアークエンジェルが立っているのを見ることができる、という意味ではありません。違います。まず最初、私たちはその存在、プレゼンス（＊そこにある、存在しているという意味）を感じ、ただそれだけです。そして勿論、二つめが来るとき…「来る」というわけではありません。なぜなら、それらのアークエンジェル達は常にそこにいるからです。私たちが他のアークエンジェルのプレゼンスを感じることができるとき、そのように働きます。現在のパーソナリティーが次に感じるプレゼンスは、先に述べたようにガブリエルであり、次にラファエルのプレゼンスを感じ、現在のパーソナリティーがウリエルのプレゼンスを感じることが出来るときには、現在のパーソナリティーは本当にそのプレゼンスを確信するのです。それら全てのアークエンジェル達がそこにいることを確信するのです。

なぜでしょうか？ウリエルのプレゼンスを感じるとき、なぜそうだと確信するのでしょうか？なぜなら、ウリエルは他のアークエンジェル達が現在のパーソナリティーに提供しているものを現在のパーソナリティーが認識できるように助けるからです。

それらのアークエンジェルたちは現在のパーソナリティーに何を提供するのでしょうか？かれらはアークエンジェルのオーダーによって提供されるものを提供するのでしょうか（それらのオーダーは諸宇宙を、そして肉体さえも築き、維持します）？違います。現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルの仕事はそれとは全く違います。彼らは唯一現在のパーソナリティーが自己実現できるように助けるのです。言い換えれば、彼らは現在のパーソナリティーのロゴス的部分を助けるのです。彼らは人間のイデア、つまり私たちがセルフ・エピグノシスと呼ぶものに与えられた能力を助けるのです。そしてこのセルフ・エピグノシスは人間のイデアに与えられた質であり、それは人間が自己実現に到達できるようになるためです。つまり、人間が他の誰かのI’ness （自分）とは異なるものとして、「私は私である」(I am I)と言うことができるようになるためにです。

勿論、これは個別性(individuality)という現れを通じて可能となります。なぜなら、人間は無知にある間に経験を重ね、この宇宙のなかで全く同じ経験を経る人は一人もいないからです。そして個別化を通じて、徐々に、ゆっくりと人間は気づきの上昇を通じて、そしてより多く生それ自体の特質、私たちの真の本質を表現するようになり、現在のパーソナリティーとしての人間は現在のパーソナリティーの自己実現に到達するのです。それはやるべき仕事でしょうか？それはやるべき仕事の一つであり、一つのステップです。それは現在のパーソナリティーによって到達される最高のレベルです。しかし神の黙想の仕事はまだ完了していません。それが完了するためには私たちは生それ自体の諸世界に入る必要があり、その時私たちはセルフ（自己）を生、つまり魂のセルフ・エピグノシスとして表現します。その時、魂は自己実現した魂となり、それら存在の諸世界における魂の多数生、多様性からの分離を認識します。

それでは再び小さな四面ピラミッドに戻りましょう。それは現在のパーソナリティーの部屋のなかにあります。その部屋は現在のパーソナリティーの墓です。

その部屋は誰でも同じでしょうか？そうです、同じです。人によって違うのは気づきの程度です。地のエレメントによって囲まれている間に人間が示す気づきの程度は人によって異なります。

Page3

以前のレッスンで、四面ピラミッドにおいて私たちに面しているサイドは純白の輝きを放ていると述べたのを覚えているでしょうか？この純白の輝きは本当は鏡であり、その鏡のなかに私たちは徐々に、少しづつ像、つまりイメージを見るようになります。そのイメージは三次元のイメージです。

ですから、私たちは目の前にそのような一つのイメージを見、前に説明したように、初めは現在のパーソナリティーはそのイメージが自分自身のイメージであるというイリュージョンを抱くのですが、実際には違うのです。そのイメージは実際には「人間のイデア」の形なのであり、「創造の元型」を示しています。しかし、いずれにしても初めは現在のパーソナリティーはそれが自分のイメージであるというイリュージョンを抱くのです。

無知のなかにいる間に、もし人が他の方向に注意をフォーカスしたらどうなるでしょうか？その時、人は何を見ると思いますか？部屋の他のサイド、あるいは小さな四面ピラミッドの他のサイドについてはどうでしょうか？右には赤い色、背後にはホワイトブルー（＊空色）、左にはウルトラ・バイオレットを見るであろう、と述べました。もしそれらの色にしばらくの間フォーカスすると、実際何を見ることになるのでしょうか？同じようにそこでも自分のイメージを見ることになり、ミカエル、ガブリエル、ラファエルなどを見るのではありません。ちょうど、正面を見るときにそこにウリエルを見ないのと同じです。ですから、人が無知にいる間はどの方向にフォーカスしようとも、それは自分のイメージであり、人は自分のイメージに魅惑されることになります。

ですから、そのようなフォーカスはその人の気づき、現れのレベルによって異なるのです。素質的可能性としての限界はこの宇宙、創造界において全ての人間にとって同じであり、無知のなかに入るという素質的可能性は「神の黙想」によって「人間のイデア」に与えられています。それは創造界における現れのそれぞれのサイクルの素質的可能性のなかにあり、現在のパーソナリティーとして私たちにはこの素質的可能性のサイクルがあるのです。そしてもちろん、この素質的可能性のサイクルは現在のパーソナリティーに沢山の可能性を現していますが、現在のパーソナリティーはそれをあまり利用していません。そして説明したように、無知にいる間現在のパーソナリティーはもう一つのサイクル、蓋然的可能性のサイクルをも体験します。そしてその蓋然的可能性のサイクルは思考・行動の結果としての現れのレベルの結果なのです。

さて、最後にコンタクトする、あるいは同調するアークエンジェルはウリエルです。ウリエルは実際には現在のパーソナリティーを示しているのではなくて、現在のパーソナリティーに非常に近いアークエンジェルであり、現在のパーソナリティーが気づきのレベルの認識を現すことができるように助けるのです。

さて、今、最後と言いましたが、現在のパーソナリティーが最初の存在を感じ、また最後の存在を感じるということがあるのでしょうか？実際には違います、しかし現在のパーソナリティーはそのように理解するのです。現在のパーソナリティーに対するアークエンジェルたちの存在、その助けは時間・空間の意味を超えています。しかし、無知にいる現在のパーソナリティーにとっては時間・空間の意味が存在するのです。

不定形の体の再形成に関して、小さな四面ピラミッドのなかにいる間は探求者は不定形の体を再形成しようと試みる、と言いましたが、どの不定形の体でしょうか？肉体には形がありますが、肉体の健康を意味する体は形が整っていません。ですから現在のパーソナリティーを示す二つの体、サイコノエティカル体のみならず、三つの体に対してワークする必要があります。三つの体に対してワークします；一つは肉体であり、その健康はもちろん他の二つの体の再形成に依存します。そのために肉体にフォーカスしようなどと考えないでください。肉体は背後に置き、そこには全くフォーカスしないようにします。

残念なことに、肉体にフォーカスするシステムもあります、それは絶対しないでください。肉体にフォーカスするのは、エーテルの特質をマスターするためだけにします。私たちはたくさんのエクササイズを行い、そのために沢山の知識を与えました。しかし、その知識は過去のものとなりました。あなた方はこれから、いかなる意味においても肉体にフォーカスすることはありません。あなた方は徐々にゆっくりと学ぶ必要があり、他の二つの体、サイコノエティカル体を感じることができるようになります。これら二つの体に関してワークすることにより、肉体の健康にワークすることにもなるのです。

Page4

覚えているかもしれませんが、肉体は現在のパーソナリティーがその肉体を通じて自らを現すために、様々なアークエンジェルのオーダーによって築かれます。言い換えれば、肉体は現在のパーソナリティーとしての現れとは何の関係もありません。現在のパーソナリティーは思考・行動の仕方の現れ以外の何ものでもないからです。

ですから、肉体は様々なアークエンジェルのオーダーによって築かれ、維持されており、常に無数のアークエンジェルが働いています。

サイコノエティカル体はどうでしょうか？それもまたアークエンジェルによって築かれているのでしょうか？肉体はマインドのもっとも低次のバイブレーション、つまり物質であり、サイキカル体は超物質のバイブレーションであり、そしてノエティカル体はサブスタンスのバイブレーションですが、ノエティカル体が純粋になるとあるレベルの高さまでのスーパーサブスタンスのバイブレーションとなります。純粋になる、という意味は、ノエティカル体を通じて表現されるそのパーソナリティーが自己実現に到達し、アシミレーション（同化・吸収assimilation）の能力へと到達した、という意味です。それは現在のパーソナリティーがこの実存の諸世界にいる間に到達できる唯一のアシミレーションです。

ですから、そのパーソナリティーがサイキカル体をノエティカル体のなかに同化吸収できるようになると、そのノエティカル体のマインドのバイブレーションは今やスーパーサブスタンスとなります。ところで、元に戻り、「サイコノエティカル体はアークエンジェルによって築かれているのか？」という問いですが、皆さんはどう思いますか？以前のレッスンで、全てはマインドであり、マインドを通じて現れがあると言いました。そして何であれマインドを通じて現れているものはアークエンジェルのオーダー、つまりアークエンジェルの働きによるものである、と述べました。

しかし、今や超物質、サブスタンス、そしてスーパーサブスタンスとしてのマインドのバイブレーションを使っている現在のパーソナリティーに関して、どう思いますか？答えはノーです。それは築かれているのではありません。サイコノエティカル体は築かれているのではありません。それは「生それ自体」によって生み出されたものです。なぜならサイコノエティイカル体はそれが初めて創造界に出てきたときには完全に創造の元型と全く同じであり、その結果、生の特質を完全に現しています。ですから、アダムとイブとして初めてサイコノエティカル界へ現れた人間は「インナーセルフ」の特質を完全に現しています。それは形、「人間のイデア」の形を有しており、この形、このイデアは築かれたものではありません。それは「神の黙想」の結果であり、現れです。

さて、人が無知の中に入ると、物質をまとうと何が生じるでしょうか？なぜ私たちは無知を現しているのでしょうか？前にそれについては全てお話しました。理由はこの形が変化したからです。言い換えれば、この形を帯びる代わりに、サイコノエティカル体が球体を帯びたからです；まさに惑星の形です。そしてそこでは「生」はその特質が完全に表現されません。なぜなら、そこには「人間のイデア」の形がないからです。

それでは元に戻って、「サイコノエティカル体は築かれるのか、それとも現れるのか？」という問いですが、それは築かれるのではなく、現れです。思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーを示すのは形の問題です。なぜなら、前にも述べたように現在のパーソナリティーは思考・行動の仕方以外の全く何ものでもないからです。そしてその現れは常に変化しています。ですから、現在のパーソナリティーはこれら三つの不定形の形を再形成しようとトライする必要があります。実際には二つの不定形の体を再形成し、健康を示す肉体の部分は、その結果に従うようになります。

前に述べたように、小さな四面ピラミッドのなかにいる間、探求者はいろいろなレベルのイニシエーション、現れ、様々なシンボルをマスターすることなどを体験します。イニシエーションは徐々にゆっくりと、現在のパーソナリティーが意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現できるように近づけます。その時はじめて現在のパーソナリティーはその部屋を背後に残して出ることができるのです。

Page5

さて、エクササイズのなかで、部屋および四面ピラミッドのなかで180度回転すると言いましたが、覚えておいてください。無知のなかでは私たちは下方にフォーカスしているのであり、それを上にフォーカスしていると見なしているのです。私たちは五感を使って自分を現わしていますが、実際には五つの超感覚を使用すべきなのです。

ですから、180度というときにはピラミッドの頂上の方へフォーカスすることを意味します。しかし部屋または四面ピラミッドのなかにいる間、180度とは目の前の純白へとフォーカスする代わりに背後のサイド、ホワイトブルーの方へ、ガブリエルが司る方へフォーカスする必要があるのです。

なぜ今ガブリエルなのでしょうか？なぜ、その方向にフォーカスするのでしょうか？なぜ回転して、そちらにフォーカスするのでしょう？覚えているかもしれませんがガブリエルは水のエレメントを司っており、水のエレメントは物質を活性化し、サイキカル体、サイキカル界における支配的エレメントです。そしてもし肉体を利用している間にサイコノエティカル体から何かを現したい時には、私たちはこの水のエレメントをマスターしなければならないのです。ピラミッドのこのサイドのドアーを開くという意味ではなく、この水のエレメントをマスターするということです。

「生命の木」に位置している四面ピラミッドを見ている時、混乱しないようにしてください。四面ピラミッドの真ん中に立っている時、無知のなかにいる人は地中深く、下にフォーカスしているのです。しかし、人は180度回転しなければなりません。つまり、このアベニュー（＊道、実際には生命の木の図を見ながら説明している）に向かっているこのサイドにフォーカスしなければならないのです。ピラミッドの頂上に向かってフォーカスしなければなりません。部屋のなかで四面ピラミッドを創造している間、人は意識として、意識の現れとしてゆっくりと上に上昇し、最終的には意識として四面ピラミッドを完成する、四面ピラミッドの頂上の方へ向かう必要があります。その時初めて人は部屋の外に出るのです。そこは再び地のエレメントの中ですが、いかなる恐れもなく、地のエレメントからの影響への恐れがありません。現在のパーソナリティーは自分にとって（真の意味で）何が悪く、何が有益かを認識できるようになるのです。

そのようなレベルに到達した現在のパーソナリティーは、エゴを現わさないのでしょうか？現しません。多くのイリュージョンを背後に残しますが、しかし大きな四面ピラミッドのなかでもイリュージョンはあります。そして真のワークはその時初めてより高い、さらにもっと高いセルフの表現に向けてスタートし、経験に基づいた知識を得始めるのです。経験に基づいた知識は現在のパーソナリティーが大きな四面ピラミッドにいる時に初めてスタートし、経験的知識は山をも動かすことのできる信念であり、それはいかなる盗人といえどもあなたから盗むことのできない宝としての信念です。そしてもちろん四面ピラミッドのなかで現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺し始めます。現在のパーソナリティーは、古代ギリシャの神話にあるヘラクレスとなるのです。そしてこのことは諸宇宙にいる全ての人間にとって当てはまります。

さて小さな四面ピラミッドのなかにいる間、沢山のワークがあります。あなた方には沢山のエクササイズが与えられます。少なくとも一日に２回、朝一回、夕方一回、それらのエクササイズを行います。各エクササイズは10分行えば十分です。

現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルが助けてくれると言いましたが、それはあなた方が自らを助けて努力するとき初めて助けてくれるでしょう。彼らはあなたの意志に反して何かをすることはしません。もしあなたが一生懸命に努力すれば。その時初めて助けてくれるでしょう。プレゼントとしてあなたに与えられるものは何もありません。全ては大きな努力の結果として与えられます。人生における全ての良いことは大きな努力の結果です。ですから、アークエンジェルはあなたの努力を助けてくれますが、もしあなたが努力しなければなにも与えてくれないでしょう。

ですから、今晩はあなた方に新しいエクササイズを与えますが、それはもちろん以前のエクササイズと関連しています。今晩から毎日それらのエクササイズを練習するようにしなさい。

私たちは皆主、絶対、主の聖性に抱かれています。

エクササイズ　SPA39、NO.1

静かに目を閉じて座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれた自分自身をイメージし…自分の身体の境界を感じます…あなたは五芒星の純白の光によって守られています…五芒星の純白の光のなかにいる自分自身をイメージします…自分が今自分の部屋にいることを知っています、その知識があります、そして同時に自分がすでに創造した小さな四面ピラミッドの中にいるという知識があります…あなたはこの小さな四面ピラミッドの各サイドから放射される様々な色の光によって包まれています…正面のサイドからは純白の光が放射され…右側からは赤い光が、そして後ろからはホワイト・ブルー（＊水色）の光が、そして左側からはウルトラ・バイオレットの光が放射され…そられの色から影響を受けるがままにします。

この四面ピラミッドの中で、五芒星の純白の光の中にいることによって、あなたは安心感を得、自分が何を行おうともそれがベストであると確信し、現在のパーソナリティーである自分にとってベストである、正しいことであると感じ、自信を得ます…あなたは自分が一人ではないと感じていますが、しかし誰がいるのかはわかりません…今、あなたに付き添っている、あなたの現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルの助けを求めます…彼らの助けを求めます…それでは右側に90度回転し、目の前には赤い光が輝いており、左側には純白の光が、右側にはホワイトブルーの光が、そして後ろにはウルトラ・バイオレットの光があります…今、そのポジションに立っていると前とは違ったタッチを感じます…その方向に向いて立っていると何か異なった感じがします…何らかの違いを感じることができます…

それでは、さらに90度右側に回転し、今ホワイトブルーの光に面しています、左側には赤い光が、右にはウルトラ・バイオレットの光が、そして後ろには純白の光が輝いています…そして再び徐々に前とは違った感触を感じ取ります、何か異なった感じを感じます

次に左に180度回転し、再びあなたは純白の光に面しています、右側には赤い光が、左にはウルトラ・バイオレットの光が、後ろにはホワイトブルーの光が輝き…前にこの同じ方向に面していた時と全く同じように感じています…

それでは今度は左に90度回転し、今ウルトラ・バイオレットの光に面しています…右側には純白の光が、左側にはホワイトブルーの光、後ろには赤い光が輝いています…再び、同じように前とは異なった感じがあります、これまで感じた他の全ての感触とは異なった感じです、いつもこのようになります、異なった方向に向かう度にあなたはその違いを感じなければなりません…

それでは右に90度回転し、あなたは再び純白の光に面し、右手には赤い光が、左側にはウルトラ・バイオレットの光が、後ろにはホワイトブルーの光が輝いていますが、今の感じはどうでしょうか？前にこの方向に向かって立っていたときと全く同じ感触でしょうか？あなたがこのエクササイズから得るものは、前とはフィーリングが異なるということです、そして確かに何かが存在することを確信します、もちろん、存在するものとは一つのミカエル、ひとつのガブリエル、ひとつのラファエル、一つのウリエル、そして最後は守護大天使です。

私たちはいつも聖なる主によって守られています。

EREVNA/SPA39/KE8/N4